

平成 16 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	J A 全農かながわ	
1 2 1	管理部企画調査課		
※記入不要			
要望問題 かんきつ園への農薬散布に伴う周囲茶園、梅園等への影響の把握と農薬使用マニュアルづくりについて			
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】			
<p><背景> 県下のかんきつ栽培地域には、かんきつ園の周囲に茶園や梅園の混在している地域が見られる。これらの地域でのかんきつへの病虫害防除のための農薬の散布は大変気を使う作業となっている。特に、農薬取締法の改正に伴い対象作物への対象農薬の規制が厳しくなった中で使用者としては十分な配慮が望まれる。</p> <p><内容>研究課題 かんきつ園の周囲にある茶園や梅園はそれぞれの生育ステージが異なるため、その時期に使用するそれぞれの農薬の種類・量は異なる。そこで、かんきつ主体に考えて農薬を使用する場合、農薬取締法に基づく対象農薬が周囲の茶園、梅園等にどのように影響するのか、また、どのようなことに配慮して使用したらよいのか等農薬使用マニュアルを作り、生産者等への指導、啓発が必要と考えられる。</p> <p><対象地域及び規模> 県下かんきつ類栽培地域 1,420ha</p>			
解決希望年限	① 1 年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3 年以内	③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ① 研究所対応	② 委託研究	③ 共同研究 ④ その他
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ① 農業総合研究所 (② 根府川試験場 ③ 三浦試験場 ④ 津久井試験場) <input type="checkbox"/> ⑤ 畜産研究所 ⑥ 水産総合研究所 (⑦ 内水面試験場 ⑧ 相模湾試験場) <input type="checkbox"/> ⑨ 自然環境保全センター		

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所		
部 署	根府川試験場		
対応区分	① 実施	② 実施中	③ 継続検討 ④ 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>農薬取締り法が改正され、ご提案の主旨は充分理解できますが、当场には試験に使用できるような梅及び茶樹はなく、直ちに影響調査を実施できる状況にありません。そこで、メーカー及び国・他県等の情報を収集し、対象樹への葉害等のリストを順次作成したいと考えています。これには、ご提案された JA 全農他、各 JA のご協力を仰ぎたく、さらには普及センターと協力し合い、実態調査も行う必要があると思います。</p> <p>また、対象樹への農薬飛散を防ぐ方法(例えば、シートを張る・掛ける、飛散の少ない噴口を使用する、強風時の散布回避、農薬を減らす栽培技術等)を、生産者へ周知することも重要と考えられます。</p> <p>いずれにせよ、当场だけでは生産者等への指導・啓発はできませんので、ご一緒に農薬使用マニュアルを作成し、安全で安心な生産物を作る努力が必要と考えます。</p>		
解決予定年限	① 1 年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3 年以内	③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内
備考			